

# 巡礼者イニゴ

## 聖イグナチオ・デ・ロヨラの劇的な生涯の劇

鹽野 めぐみ

5

### 第二幕 第2場

1521年6月中旬 ロヨラ城イニゴの病室

登場人物： 騎士                   イニゴ・デ・ロヨラ  
                  ロヨラ城城主   ガルシア・デ・ロヨラ（イニゴの兄）  
                  城主夫人        マグダレーナ・デ・ロヨラ（イニゴの義姉）  
                  騎士                ホアン

城主夫人：イニゴ、この部屋で少し落ち着きましたか？傷が痛まなければいいのですが。

イニゴ：美味しい昼ごはんでした。ご馳走さま。ホアンも喜んでいました。

ホアン：パンプローナ城が落ちて以来初めての食事らしい食事でした。

城主：そうだったのか？そういえば、イニゴもだいぶやつれているね。傷のせいだと思っていたが。

城主夫人：夕食も腕によりをかけましょう。

イニゴ：姉さん、楽しみにしています。ホアン、食べ物は何もなかったが、フランス人たちは我々に対して親切だったね。

ホアン：特に君に対してね。敵ながら天晴の戦いぶりだと思っていたのだろう。フランス軍の将校たちの中にイニゴを尊敬している人もいたよ。

イニゴ：丁寧に傷の手当てをしてくれたし、ここまで送り届けてくれたのも有り難かった。ただ、担架に載せられての長旅は 楽じゃないね。道中、傷が悪化したような感じがする。

城主：午後 医者が何人か来ることになっている。シエスタの後、診察を受けてくれ。

イニゴ：有難う、兄さん。

【黒い使いの合唱】

♪イニゴよイニゴ この傷は これからどんどん重くなり

やがて命取りに なるだろう お前の青春 ハイこれまで～よ

【白衣の天使の合唱】

♪ああイニゴ 骨のずれたる 片足を 元に戻すは

至難なる 業にはあれど 一命は 辛くも止めん<sup>とど</sup>